

3-9 事務部門管理者会議

本会議は、平成9年度より新規事業として開始した事業で、16年度で8回目となる。事務部門の最高責任者の方々を対象とした理事長・学長会議の事務局版とも言える会議で、大学の事務当局が情報化を進める上での基本的な考え方について十分理解いただくことを目的としている。

16年度は、帝塚山大学の学長を招請し、「授業改革の試みと学習支援のための組織的な取り組み」というテーマで特色GPを採択された授業システムを取り上げ、大学に求められる組織的な課題について事務局側に提言を予定し、教育の産官学の連携について可能性、意見を伺うこととした。また、話題紹介ということで、来年度個人情報保護法の施行に伴う電子化対策についての判断基準の参考例の紹介、大学間の著作権処理事業、情報技術のeラーニング講習、情報倫理教育eラーニング教材の紹介、組織的に補助金を考えていただくためのWebサイトの活用についても情報提供を行うことにした。

以下に、開催要項を掲載する。

平成16年度 事務部門管理者会議開催要項

日時：平成16年11月30日(火) 13:30~18:00
場所：アルカディア市ヶ谷(東京、私学会館)

I. 目的

教育の質的向上、人材育成を実現するための情報技術の活用について、理解の普及を図るため、教育支援の在り方、著作権処理、個人情報の取り扱い、補助金の活用など大学としての取り組みが欠かせない課題について説明する。

II. プログラム

13:30 開会挨拶 戸高 敏之 会長(私立大学情報教育協会)

13:35 講演 「授業改革の試みと学習支援のための組織的な取り組み」

学生の学力の低下と学習意欲の欠如という教育課題を克服するため、教員と職員組織が協力して情報技術を活用した授業改善に取り組んでいる実例(16年度文部科学省特色GP採択)を紹介し、今後、大学に求められる組織的な課題について提言する。

講師：石澤 末三 氏(帝塚山大学学長) 他

14:35 問題提起 「教育の産官学連携を考える」

大学が社会から期待される人材育成に応えるためには、問題発

見・解決能力、自己実現能力、コミュニケーション能力など社会での即戦力が要請されている。それには、学習の動機付、体験を取り入れた教育が不可欠で、社会での現場・経験を教育に組み入れる工夫が必要となる。大学単独で教育改革を進めるには十分でなく、産業界をはじめとする社会のあらゆる関係機関の支援・連携、いわゆる「共生の教育システム」が必要となる。

説明：井端 正臣 事務局長（私立大学情報教育協会）

15:10 話題紹介 「個人情報保護法施行に伴う電子化対策の考え方」

17年度施行を前に学生の個人情報の取り扱いについて、とりわけ情報技術環境における大学の取り組み事例を紹介し、本協会実施の個人情報保護へのアンケート結果を踏まえ、具体的な保護対策について意見交換を行い、共通理解を深める。

司会・総括：私立大学情報教育協会事務局

説明：斉藤 和郎 氏（札幌学院大学情報処理課長）

15:50 休憩

16:05 本協会事業の紹介

「ネットワークによる大学間著作権処理事業の紹介」

本協会が文化庁著作権課の下で実施する電子著作物の権利処理事業の実施について報告する。

「教員のための情報技術のe講習、情報倫理教育のe-ラーニング教材の紹介」

本協会が実施している教員向けの情報技術の講習、情報倫理教育を支援するためのe-ラーニング教材の開発を報告する。

16:40 「情報関係補助金に関する申請のノウハウ」

補助金の補助対象の範囲や申請上の留意点について紹介を行い、学内の予算編成に有益な情報提供を行う。

説明：私立大学情報教育協会事務局

17:00 コミュニケーション

18:00 閉会